感冒症状の⾃宅療養中の家族内感染の予防策について

* 感冒様症状の患者はできる限り家族との接触を避け，療養する部屋も分ける。
* 看病が必要な場合は，看病する⼈を限定する（1⼈が望ましい）。ただし，⾼齢者，基礎疾患を有する患者⼜は妊娠中の⼥性には看病させない。
* 患者と家族はタオルを共有せず，別のものを使う。
* 患者の⼊浴は最後にする。
* 療養する部屋から患者が出るときは，マスクをつけ，部屋を出る直前にアルコール⼿指消毒をする。
* 患者が触った箇所（ドアノブや⼿すりなど）をアルコールで浸した紙で拭き取り消毒し，拭き取った紙は再利⽤せずすぐにゴミ箱に捨てる。
* 定期的に部屋の窓を開けて換気する。

（⽬安：1-2 時間に１度，5-10 分間程度）

* 患者が使った⾐類やシーツを洗濯する際は，⼿袋とマスクをつけて洗濯物を扱い，洗濯後には⼗分に乾燥させる。
* 患者が出すゴミはビニール袋等に⼊れしっかりと⼝を縛って密閉してから部屋の外に出す。ゴミを扱った直後はしっかり⼿洗いする。